

雑 報 欄

553. 574 : 550. 8 (523. 5)

高知縣土佐郡の珪石鑛床*

高知縣土佐郡にも多数の鈳床の存在が知られているが、調査したのは土佐山村菖蒲山、西川山、鏡村吉原山である。何れも未開又は休廢山である。

〔地質〕 土佐山村附近の地質は砂岩、粘板岩、珪岩、chert 等の累層よりなり、一部に輝綠凝灰岩が露出する。地層の走向は略 EW、傾斜 60°~70° N、所に依り S である。

〔鈳床〕 土佐郡の鈳床の特徴は、次の如くである。

(1) 菖蒲附近の鈳床 鈳床は赤色角岩(赤黒く Mn に富んでいるもの)の中に賦存し、鈳体の中央部に良質の部分があり、周囲になる程赤の部分が多くなり、従つて品位が落ち次第に赤色角岩に漸移する。即ち吾川郡三瀬村に於ける鈳床の如く、滑り面により鈳体が明瞭に境されていない。

鈳体は直径 5~10 m 程の塊状で、多少何れかに細長いが脈状とは云えない。採掘跡より見ると、鈳体は下部に対する連続性が欠けている。

(2) 鏡村の鈳床 鏡村の鈳床は同じく赤の部分が多いが赤の部分の色が淡赤~眞赤に近く、黒味が少ない。黒崎吉原山に於ては鈳床の西側に輝綠凝灰岩が見られるが、鈳床との関係は明かでない。

〔鈳石〕 鈳石は何れも赤白珪石で、一般に云つて鈳体の中央部は 1 級品であり、外部に移るに従い 2 級品となり、遂に廢石(赤色角岩)となる。鈳体が小さいため、1 級品のみを求めると鈳量は極めて小さくなる。

鈳石の分析値及び耐火度を次に示す。(分析者 地質調査所関根・前田、耐火度黒崎窯業)

	①	②	③
SiO ₂	97.59	97.47	95.61
Al ₂ O ₃	0.51	0.55	0.94
Fe ₂ O ₃	1.26	1.21	2.80
FeO	0.22	0.25	0.03
MnO	0.03	0.03	0.07
CaO	0.01	0.01	0.01
MgO	0.12	0.14	0.12
Ig. loss	0.22	0.32	0.32
Total	99.96	99.98	99.90

耐火度 { 単味 SK 34 34- 33 1/2
スラグ入り SK 33+ 32 32+

備考 ①菖蒲 3 号山最良質部(量的に少ない)、
②菖蒲 3 号山平均、③菖蒲 5 号山平均

〔既採掘量〕 土佐山の鈳床は品川白煉瓦株式会社に依り開発され、既採掘量は次の通りである。

菖蒲	4,016 ton	1941~1943
西川	923 ton	1941~1942

〔搬出〕 菖蒲地区は道路の発達不良のため、菖蒲部落迄は辛じて中型以下のトラックを通ずるが、採掘場所からこの道路迄は軽索のみでなく牛馬車の運搬に依らねばならぬ。又菖蒲部落より積出駅である高知駅迄は 30 km もあり、土佐郡の鈳床は何れも小運搬の問題が開発を阻害している。

〔各論〕 1) 菖蒲 3 号山(土佐山村大平北方 600 m)

附近に角岩が分布し、鈳床はこの中の一部赤色角岩中に局部的に石英細脈の入り込んだもので、略 N 30° E の方向に約 50~60 m に亘り数個の小鈳体が見られるが、鈳体相互の連絡はない。鈳石は赤白珪石 1~2 級品で外側は赤色部が多い。一部に特級と称すべき良質の部分(分析値(1))があるが量的に少い。平均品位の分析値は(2)鈳量としては 1,000 ton 前後しか期待出来ない。(1~2 級品各 50%)

2) 菖蒲 5 号山(大平北西 300 m)

鈳床は赤色角岩中の塊状鈳体で、長径 10 m 位の円い水平のレンズ形で、深さは 3 m 前後、下部連続性に欠けている。鈳床は赤色部多く、採掘量に対する 2 級品歩留りは 50~60%、殆んど採掘済である。鈳石は赤白珪石で一部角礫構造明瞭でこの部分は良質である。平均品位の分析値は(3)。

3) 西川山(土佐山村西川部落西北 600 m)

赤色角岩中の赤白珪石鈳床で上下 2 つの塊状鈳体よりなり、鈳体は何れも小さく下部連続性に欠く。鈳体両盤の赤色角岩は珪化して石目が発達する。両鈳体共殆んど採掘済である。鈳石は角礫構造を示し、珪化して充分に硬い。

4) 黒崎吉原山(鏡村川口北方 5 km の平水部落の北、國見山東麓)

鈳床は珪岩と輝綠凝灰岩と境界近くの赤色角岩中の赤白珪石で、5~10 m 径の数個の塊状鈳体から成つている。鈳石は赤白 1~2 級品で比較的赤色の部分多く、充分に珪化している所は少い。搬出は可成困難である。

鏡村狩山部落南の山の高所には品川吉原山があり、1 級品として 2 万 ton 近く採掘したと云う。(安齋俊男・岡野武雄)

* 昭和 24 年 2 月に行はれた。1 : 50000 高知・伊野